

◎道路管理の経費

道(水)路調査事業	【 道水路管理課 】
-----------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
 道路整備: 歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界査定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちが実現される。

【事業の内容】

(1) 道(水)路調査事業

- ・ 査定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会いを行い境界の確定後、査定図を作成した。
- ・ 市道路の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
106,965	103,390	103,173		217
主な支出内訳				
・ 道(水)路調査事業				
土地境界査定図交付事務等アルバイト賃金				2,014
境界査定立会等業務委託料				53,888
境界立会 120回、打合協議 63回、石標埋設 180本、金属標埋設 175枚 4級基準点測量 28,196.2m、(同伐採あり) 2,586m、境界点測量 1,259点、 平板測量 10,626.1m 外				
道路調査委託料				470
狭あい道路整備境界査定立会等業務委託料				10,813
境界立会 29回、4級基準点測量 4,641.1m 境界点測量 99点、平板測量 1,813.1m 外				
滑川境界査定業務委託料				0
境界査定用境界杭等原材料費				947
狭あい道路用地購入費				21,425
道路用地購入費				13,557
主な特定財源				
・ 国県支出金				6,531



平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・土地境界査定は、隣接する土地所有者の承諾がなければ進まない事業である。したがって、ケースによっては立会に向けた査定内容及び関係地権者の所在等の調査、立会い協力依頼、立会日の設定に時間を要しているものもある。 ・土地境界査定現地立会の結果、査定が不調となった過去の査定案件が累積している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・地権者との立会日の設定については、関係地権者の都合を優先し、土曜日、日曜日、休日にも立会を実施している。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・累積している過去の査定案件は、可能なものから処理しているが、新たな不調案件が生じ未処理案件が累積している。  ・狭あい道路拡幅整備事業においての、舗装完了までに至らない箇所があった。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・申請から立会までの日数を更に短縮すべく更に様々な工夫をしていく。 ・新たな不調案件を未処理とせず、一定の査定範囲を定め直し、完成させるよう努力する。そうすることにより、不調となった問題点を決裁上で明確にするとともに、事務の繁雑化を防ぐようにする。  ・狭あい道路後退用地の現地調査を作業センターと同行で行い、同センターとの連携を更に強化し、緊急度などの要望を現地で調整することにより未舗装箇所の減少を図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	積極的な事務の改善を実施し、累積案件の減少を図るとともに、新規案件の処理期間の短縮を図る。		
担当課長氏名:	道水路管理課長 稲葉 一男		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	事務の改善を継続し、より効率的な事務処理を確立する。		
担当部名	都市整備部長	部長名	高橋 洋